

## 1 単 元 はたらく人びとのしごとを知ろう～スーパーマーケット～ (4/12)

## 2 単元の目標

- ・ 様々な働く人の仕事に興味をもって、進んで調べようとする事ができる。(関・意・態)
- ・ 働く人の工夫を、確かな視点や自分のこだわりをもって意欲的に見学できる。(技・表)
- ・ 学習して得た知識をもとに、スーパーマーケットを見学して、働く人の工夫や努力に気づき、まとめることができる。(思・判)
- ・ 買い物調べを通して、家の人(消費者)の買い物に対する願いに気づくことができる。(思・判)
- ・ 産地調べを通して、品物を通じた他地域とのつながりがわかる。(知・理)
- ・ 店が地域の人と協力してリサイクルなどに取り組んでいる理由を、店と地域とのつながりの面から理解することができる。(知・理)

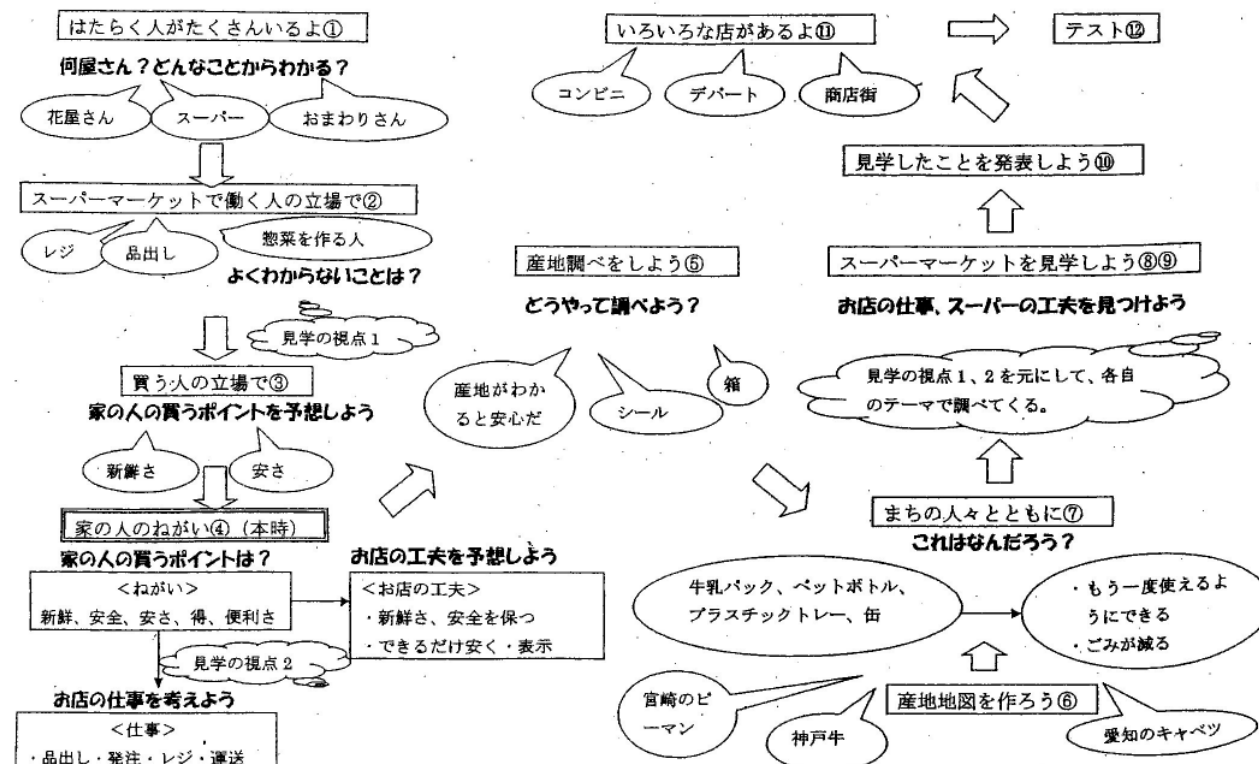
## 3 授業にあたって

本学級の児童は、新しく学ぶことに意欲的に取り組める児童が多い。理科の昆虫の学習では、習ったことを元に、様々な生き物を捕まえては世話をし、生態や食べる物などに興味を示している。新しく手にしたりコーダーもみるみるうちに上達し、高学年レベルの演奏ができる児童もいる。

様々なことに興味を示す児童らにとって、この題材は本物のスーパーの見学を始め、買い物調べや産地調べなど、実生活に深く関わる内容が魅力となり、意欲的に取り組めることが予想できる。しかし、それだけではなく、消費者の願いやそれに対する働く人の工夫を考えたり直に学んだりすることにより、「相手の立場に立って考える」ということを学ぶ機会となるであろう。さらに、日常的に利用しているスーパーマーケットの様々な仕組みを知り、自分もそれを利用してつながっていることを感じ、「社会の一員である」という自覚をもつきっかけとなることを期待する。

本単元では、実生活に基づいた具体的な活動を通して深い学びにつなげたい。買い物調べを通して消費者の願いを肌で感じる活動を、産地調べを通して地域や世界の物流の中で自分たちの生活があることを自覚する活動を、そして、スーパーマーケットの見学を通し、学習したことが実際に行われていることを実感したり、消費者のことを考えた様々な工夫を目の当たりにしたりすることで、社会と自分のつながりを体感し、視野を広げるきっかけとなることを望む。

## 4 単元の構想 (12 時間完了)



## 5 本時の学習

### (1) 目標

- ・調べてきたことを意欲的に発言できたか。(関・意・態)
- ・出てきた意見から、家の人「安全」「新鮮さ」「値段の安さ」といった買い物に対する願いに気づくことができたか。(思・判)(処・表)

### (2) 本時の指導

- ・意欲的な発言を促すために、しっかりと「家の方の買い物調べ」をさせておき、データを元に、買う人(消費者)の立場から商品購入について考えさせたい。
- ・買い物に対する願いに気づかせるために、視点がわかりやすいグラフで表し、それを読み取って理解していくことも学ばせたい。
- ・表面的な内容にしか着目できない児童のために、「なぜ」と問いかけることで、深く考える機会を作りたい。

### (3) 準備・教師…買い物調べの集計表(グラフ)、願いのカード 児童…買い物調べ(宿題)

### (4) 展開

